

世界水準の山岳高原観光地づくり構想について (概要)

山岳高原観光課

山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり

<長野県が目指す「世界水準の滞在型観光地」>

- 1 「地域の本質的なもの」がコンセプトとして確立している
 - ・「地域の本質的なもの」を見極め、それをコンセプトとして確立している。
 - ・コンセプトを観光地づくりの落とし込み、洗練させていく取組を長期的に継続している
- 2 コンセプトに基づいた「独自の価値」が提供されている
 - ・コンセプトに基づき、「地域の本質的なもの」を、顧客が高い満足度を得られる商品として磨き上げる。そのことを通じて「独自の価値」を提供している。
 - ・顧客がその価値を最大限に楽しみ、滞在しやすい受入環境が整っている。
 - ・価値の提供が自然環境と調和する形で行われ、長期的に維持されている。
- 3 世界の観光市場の中で認知されている
 - ・世界の観光市場で「独自の価値」を持つ地域として広く認識されている。
- 4 マネジメント体制が整っている
 - ・世界水準を目指す具体的な戦略がある。
 - ・観光事業者、行政、地域住民等と連携して観光地づくりをマネジメントする体制がある。
 - ・マネジメント体制が、自立的・継続的に運営されている。

<3つの重点支援地域>

大町市、白馬村、小谷村

外国人旅行者でにぎわう白馬、立山黒部アルペンルート

【テーマ】
通過型から周遊滞在型へ

木曽町

御嶽山信仰に育まれた独自の歴史文化、中山道の宿場

【テーマ】
御嶽山と日本らしい文化の活用

飯山市を中心とする信越9市町村

◆新幹線新駅の開業、自然アクティビティの聖地としての可能性

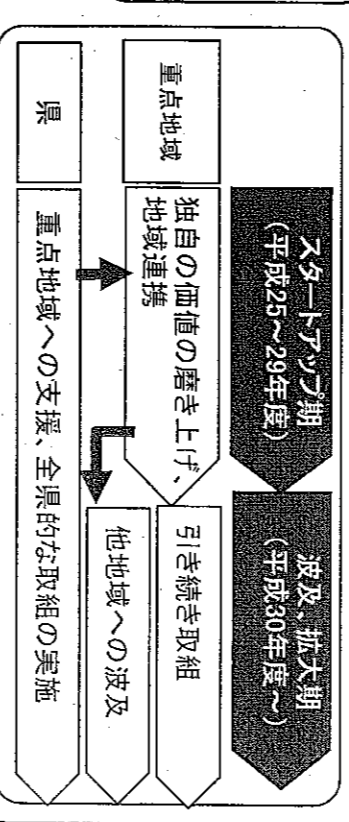
【テーマ】
新幹線駅を核とした広域連携

※重点支援地域の取組を県内各地へ波及

<基本的な県事業の構成>

- 1 目指す姿の実現に向けたビジョンづくり (H25～26年度)
- 2 山岳高原観光地づくりを支える基盤整備 (H25年度～)
 - ・「NAGANO モビリティ」の推進
 - ・おもてなしの推進
 - ・中核人材の育成
 - ・宿泊施設の機能表示
 - ・登山道、トイレの整備 等
- 3 3つの重点支援地域への支援 (H26年度～)
 - ・受入環境整備への支援
 - ・有識者の派遣による助言
 - ・観光事業者の意識醸成 等
- 4 全国的な施策に係る国への提言
 - ・長期滞在を促す休暇制度の改革
 - ・民間活動を活性化させるための規制改革

<期間>



構想を実現させる	実施方針
<p>①コンセプトの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の価値に共感する顧客を異国とする。 ・流行に追随した表層的な作り方はしない。 ・地域の一人ひとりが具現化できるものとする。 	<p>①コンセプトの具現化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客に「独自の価値」を提供するという強い意識を持って、資源を磨き上げる。 ・高級でなくとも上質なものを提供する。 ・不断の努力によって商品の質を向上させる。 ・顧客に対して新しい観光スタイルを提案する。
<p>②情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の観光市場へプロモーションをする。 ・県内外の幅広い場所から情報を発信する。 	<p>②情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢、国籍、身体能力の差異等に関わらず、誰もが楽しめるユニバーサルな環境をつくる。 ・顧客一人ひとりがそのニーズに合わせて、様々な商品やサービスを選べる環境をつくる。 ・自然環境を保全する。 ・必要な安全性を担保する。 ・行政界を越えた広域連携によって整備を進める。
<p>③戦略策定とマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の運営体制づくり 	<p>③戦略策定とマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が誇り、愛着をもてる観光地を目指す。 ・現状を客観的にデータで把握する。 ・どのような規制を強化もしくは緩和すべきかを検討する。

地域	具体的な取組
県	地域の集約・特徴の洗い出し 顧客の意識把握 コンセプトの検討
地域	プログラムの開発の支援 山岳高原観光向けサービス開発の促進 象徴的な施設等とタイアップした商品開発
県	広域移動につながる新たな観光スタイルの開発 地域の急の強みを活かした商品開発の促進 広域の交通機関連携サービス開発
地域・県	ホスピタリティの向上促進 山岳高原イベントの整備 観光情報の一元的な集約と提供 環境保全のための規制と情報提供
地域	長期滞在を促すための環境整備 長期間滞在を促すための環境整備 品質を保證する評価制度の導入 全県的な取組づくり
県	空港とのアクセス強化
地域	プロモーションと情報発信 全県的なプロモーションと情報発信
地域	戦略策定 広域マーケティング 観光地づくりのマネジメント 全県的なマネジメント
県	規制改革 長期滞在を促す休暇制度効果画のための理言 重点支援地域への支援と成果の波及
地域	マネジメント組織の構築 観光地地づくり人材の育成
県	観光地地づくりの理解と関与の促進 全県的な人材育成支援

施策の展開

- 1 「地域の本質的なもの」がコンセプトとして確立している
- 2 コンセプトに基づいた「独自の価値」が提供されている
- 3 世界の観光市場の中で認知されている
- 4 マネジメント体制が整っている

本質エリア

【テーマ】「御嶽山と日本らしい文化の活用」
御嶽山の信仰、中山道の歴史などを活かして、こうした文化的資源を山岳高原観光に取り入れた観光地づくりのモデルを目指す。

■必要な施策

- ①観光客に対する“霊場”体験の提供
- ②心身の健康増進につながる観光の実現
- ③住民の誇りと愛着を示すおもてなしの実現

大町市、白馬村、小谷村エリア

【テーマ】「通過型から周遊滞在型へ」
北アルプスを軸とした広域の観光地づくりを進め、白馬や立山黒部アルペンルートの観光客を呼び込むことを通じて、通過型の顧客をエリア内に広く周遊・滞在させる観光地としてのモデルを目指す。

■必要な施策

- ①広域エリアのコンセプトの明確化とブランド化
- ②エリア全体でのマーケティング
- ③通過する顧客の周遊・滞在化の促進

飯山市を中心とする信越9市町村エリア

【テーマ】「新幹線駅を核とした広域連携」
日本の原風景ともいえる里山文化が残された広大な文化圏と、9市町村の連携体制を活かし、ワンストップサービスや独自の滞在型観光スタイルの実現によって、広域連携の先進モデルになることを目指す。

■必要な施策

- ①広域マネジメントセンターの構築
- ②9市町村連携によるワンストップサービスの実現
- ③広域の強みを活かした滞在型観光スタイルの構築

それぞれが直近5年でモデルとしての成果を出し、他地域に波及させる